

## 令和3年度 学校自己評価計画書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取り組み	主担当	現 状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1 授業実践力の向上 (授業改善)	研究授業整理会では、良かった点、改善点について分かりやすく表にまとめる。全職員が授業シートを記入した授業を行い、ミニ授業報告会を行う。多くの事例を共有し合うことで授業改善につなげる。	教務課	個々の教員が授業づくりにおいて「伝える力」を意識しているが、教科間のつながりを意識するまでには至っていない。また、個々の授業実践の全体へのフィードバックが不十分である。	【成果指標】 研究授業や授業整理会、ミニ授業報告会を受けて自らの授業改善に取り組んだ教員の割合で評価する。 アンケートを取り評価する。 1：取り組めた 2：取り組めなかった	授業改善に取り組めた教員の割合が  A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	年度当初に授業研究の計画を示していく。
2 組織的・系統的なキャリア教育	保護者がわが子の高等部卒業後の姿を早い段階から意識できるような情報を各学部からも提供する。	進路指導課 各学部	昨年度の4月時点での中高等部生徒・保護者の約64%が高等部卒業後の進路について見通しが持ていない状態であった。そこで、学級での進路学習やキャリア通信等で進路関係の情報提供を行った結果、12月では48%となってきた。それでも、まだまだ具体的な進路決定については、高等部3年になってから卒業後の進路を考える状態となっている。	【満足度指標】 年間を通して毎月「キャリア通信～轍(わだち)～」を発行し、保護者の意識が高まるような情報を提供する。 前期、後期毎に保護者にアンケートをとり、情報提供について以下の項目で評価する。 1：とても参考になった 2：まあまあ参考になった 3：あまり参考にならなかった 4：参考にならなかった	アンケートの結果「とても参考になった」「まあまあ参考になった」の合計の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	前・後期に学校評価教員アンケートを行い評価する。
3 安心・安全な学校づくり	避難訓練、交通安全教室など安心・安全な学校づくりのための取り組み内容をWebページや生徒指導通信で複数回発信する。その際実際に生じる課題解決を想定した情報を加味した形で発信する。	生徒指導課	Webページや生徒指導通信を通して情報を発信しているが、訓練等の行事の報告にとどまっている。地震や津波で児童生徒が自宅以外の避難場所へ過ごすことなどを想定した安全・安心につながる情報を提供できていない。	【努力目標】 安心・安全な学校づくりのための取り組みを、テーマ別に深めた内容を加味して発信した回数で評価する。	安心・安全に関する情報をテーマ別に深めた内容を加味して発信した回数 A：4回以上 B：3回以上 C：2回以上 D：2回未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	情報の発信回数で評価する。
4 業務の効率化	教員一人一人が校務分掌の業務の内容とその課題を把握し、効率化を目指して取り組みを進める。	全職員	一人一人の教員は業務改善の意識を持ちながら業務に取り組んでいるが、引き続き前例にとらわれることなく、分掌業務の見直し・整理が必要である。	【成果評価】 各自の校務分掌の課題を把握し、業務の見直し・整理に向けた取り組みを行う。	各自の校務分掌の課題を把握し見直しや整理に取り組んだ教員の割合が、 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	中間評価でC以下の場合は内容や取り組みを再検討する。	前・後期に学校評価教員アンケートを行い評価する。